

世田谷区の現状及び世田谷区地球温暖化対策地域推進計画の実績報告について
(令和2年度)

1 主旨

区では、「世田谷区地球温暖化対策地域推進計画」(計画期間：2018年度～2030年度)に基づき、地球温暖化対策を進めている。令和2年10月の「世田谷区気候非常事態宣言」を踏まえ、本計画の見直しを進めるにあたっての基礎資料とするため、区の現状及び計画の実績について報告する。

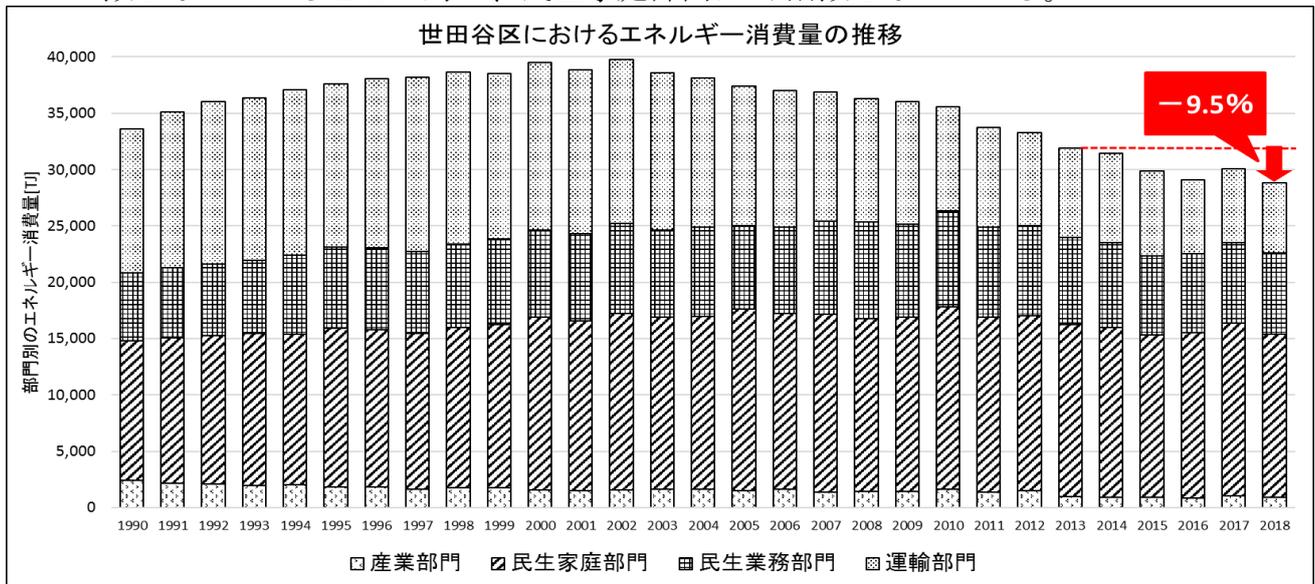
2 世田谷区の現状

※区全体のエネルギー消費量や温室効果ガス(CO₂)排出量の算定に必要な統計資料は、2年程度遅れて公表されるため、2018年度までの状況について報告する。

(1) 区全体のエネルギー消費量

区全体のエネルギー消費量は2002年以降、減少傾向にあり、2018年度は28,836TJ、前年度比で4.1%、基準年度(2013年度)比で9.5%減少している。部門別では、民生家庭部門が50%、民生業務部門が25%であり、民生部門で全体の4分の3を占めている。

地球温暖化対策地域推進計画の目標値(2030年度において2013年度比で25.1%削減)に対して、順調に推移している。部門別では、運輸部門が2013年度比で21%の削減となっていることに対し、民生家庭部門は5%削減となっている。



出典：オール東京 62 市区町村共同事業みどり東京・温暖化防止プロジェクト

【部門の解説】

産業部門…農林水産業、建設業、製造業におけるエネルギー消費量

民生家庭部門…家庭におけるエネルギー消費量

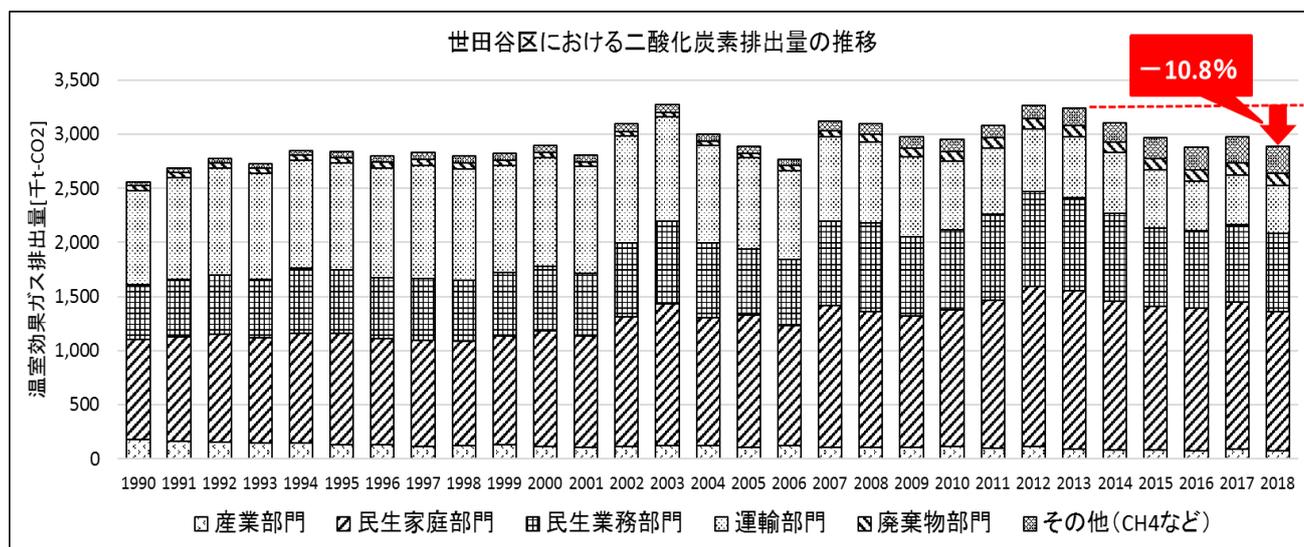
民生業務部門…事務所ビル、飲食店、学校などにおけるエネルギー消費量

運輸部門…自動車、鉄道におけるエネルギー消費量

(2) 区全体の温室効果ガス（CO₂）排出量

区全体の温室効果ガス排出量は、人口や世帯数の増加にも関わらず減少傾向にあり、2018年度は2,887千t-CO₂、前年度比で2.9%、基準年度（2013年度）比で10.8%減少している。部門別では、民生家庭部門が44%、民生業務部門が25%であり、民生部門で全体の7割を占めている。

地球温暖化対策地域推進計画の目標値（2030年度において2013年度比で26.3%削減）に対して、順調に推移している。部門別では運輸部門が2013年度比で22%削減、民生家庭部門は12%削減となっている。



出典：オール東京 62 市区町村共同事業みどり東京・温暖化防止プロジェクト

【部門の解説】

産業部門…農林水産業、建設業、製造業における二酸化炭素排出量

民生家庭部門…家庭における二酸化炭素排出量

民生業務部門…事務所ビル、飲食店、学校などにおける二酸化炭素排出量

運輸部門…自動車、鉄道における二酸化炭素排出量

廃棄物部門…一般廃棄物の焼却における二酸化炭素排出量

その他（CH₄など）…燃料や廃棄物の燃焼等に伴うメタンなどの温室効果ガス排出量

3 区の主な取組みの実績と評価

令和2年度の区における取組みは、5つの施策の柱（区民の取組み支援、事業者の取組み支援、低炭素都市づくりと適応策、エコな暮らしと文化の創造、区役所の率先行動）のそれぞれにおいて、概ね順調に推移している。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響等により、一部の指標については基準年と比較して、実績値が後退している。「区民一人一日あたりのごみ排出量」については、新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛や巣ごもり消費、在宅時間が長いことからの荷物整理等の影響により一時期大きく増加した。同様に、家庭のエネルギー使用量を示す指標である「省エネポイントアクションで省エネに成功した区民の割合」の減少についても、在宅時間の増加による影響が大きいと考えられる。

今後も、住宅都市である区の特徴を踏まえ、民生家庭部門の温室効果ガス排出量削減量の増加に向け、省エネルギーに寄与するライフスタイルや住まいづくりをはじめ、再生可能エネルギーの利用拡大に資する施策などに引き続き取り組んでいく必要がある。

また、台風の影響拡大、頻発する集中豪雨、記録的な猛暑など、気候変動によってすでに表れている影響への防災・減災対策についても、強化していく必要がある。

■進捗管理指標

(1) 施策の柱Ⅰ 区民の取組み支援

項目	基準年 (2016年度)	実績 (2020年度)	中間目標値 (2024年度)
区民1人1日あたり のごみ排出量	542g/人・日	550g/人・日	482g/人・日
太陽光発電設備 ^(注1) の普及	累計 6,548 件	累計 7,757 件 (2020年9月末時点)	8,955 件
家庭用燃料電池の導 入件数	累計 3,931 件	累計 7,412 件	10,539 件
新築住宅に占める省 エネルギー住宅の割 合 ^(注2)	18.6%	26.3%	30.0%
省エネポイントアク ションで省エネに成 功した区民の割合	87%	54.60%	95%

注1：固定価格買取制度における太陽光発電設備の導入状況（出典：経済産業省 資源エネルギー庁「固定価格買取制度 情報公表用ウェブサイト」）。

注2：広義には ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）も省エネルギー住宅に含まれるが、本指標では長期優良住宅及び低炭素建築物の認定申請等件数から割合を算出している。

(2) 施策の柱Ⅱ 事業者の取組み支援

項目	基準年 (2016年度)	実績 (2020年度)	中間目標値 (2024年度)
事業系リサイクルシ ステム ^(注) 参加事業者 数	824 件	895 件	1,000 件
省エネ診断実施事業 所数	累計 104 事業所	累計 146 事業所	累計 174 事業所

注：世田谷区リサイクル協同組合が、区と協力し、区内の事業所の事業活動から排出される資源（新聞・雑誌・ダンボール・オフィス古紙・びん・かん）を直接回収する事業で、区内全域で実施されている。

(3) 施策の柱Ⅲ 低炭素都市づくりと適応策

項目	基準年 (2016年度)	実績 (2020年度)	中間目標値 (2024年度)
コミュニティサイクルポート数	5か所 (2017年度)	5か所 ※2020年4月より民間シェアサイクル実証実験を開始(ポート数81か所)	10か所
駐輪場整備件数 ※民営駐輪場を含む	127か所 (2017年度)	152か所	140か所
次世代自動車の普及率 ^(注1)	6% (2014年度)	16% (2020年3月末時点)	25%
太陽光発電設備 ^(注2) の普及(再掲)	累計6,548件	累計7,757件 (2020年9月末時点)	8,955件
家庭用燃料電池の導入件数(再掲)	累計3,931件	累計7,412件	10,539件
みどり率	25.18%	5年に一度の調査のため、策定当時と変更なし(前回調査:2016年)	29% (2027年度)
市民緑地面積	16,707.41 m ² (2017年度)	13,734.5 m ²	18,078.6 m ² (2021年度)
公園整備面積(新設、拡張)	174.56ha (2018年度)	174.74ha	179.24ha (2021年度)
区民農園整備件数	ファミリー農園 21 学童ふれあい農園 1 クラインガルデン 1	ファミリー農園 18 学童ふれあい農園 ※2018年3月閉園 クラインガルデン ※2017年9月閉園	件数増
体験農園、ふれあい農園整備件数	体験農園 4 ふれあい農園 60 クラインガルデン 1	体験農園 5 ふれあい農園 48 クラインガルデン ※2017年9月閉園	件数増
流域対策による雨水流出抑制量	485,000 m ³	558,000 m ³	571,000 m ³
他自治体との連携による再生可能エネルギーの利用推進	2自治体	4自治体	5自治体

注1：区内のハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド、電気自動車、燃料電池自動車の保有台数から算出。

注2：固定価格買取制度における太陽光発電設備の導入状況(出典：経済産業省 資源エネルギー庁「固定価格買取制度 情報公表用ウェブサイト」)。

(4) 施策の柱Ⅳ エコな暮らしと文化の創造

項目	基準年 (2016年度)	実績 (2020年度)	中間目標値 (2024年度)
学校エコライフ活動 実施校数	区立小・中学校 全校	区立小・中学校全校 (参考) ビオトープ ワークショップ実 施:10校 など	区立小・中学校全 校
学校エコライフ活動 表彰校数	年間5校程度	表彰事業は2018年度 をもって廃止	年間5校程度
里山塾参加者数	体験教室:延べ91 名 養成教室:19名	親子里山体験コース (注1) 計303名 (2018~2020年度) おとなの里山コース (注2) 計84名 (2018~2020年度)	体験教室: 7年間の延べ参加 者数600名 養成教室: 7年間の参加者数 120名

注1:2018年より体験教室は「親子里山体験コース」に名称変更した。

注2:2018年より養成教室は「おとなの里山コース」に名称変更した。

(5) 施策の柱Ⅴ 区役所の率先行動

項目	基準年 (2016年度)	実績 (2020年度)	中間目標値 (2024年度)
区役所全体のエネル ギーの削減(2009年 度比)	10.4%削減	14.9%削減 (2020年度上半期)	16.4%以上削減 (2021年度)
区の新庁舎における 二酸化炭素排出量 (単位面積当たり)	76.6kg/m ²	数値なし (新庁舎完成時の目 標であるため)	41.1kg/m ² (注) (2027年度新庁舎 完成)
公共施設の太陽光発 電導入数	41か所	61件	68件
LED等高効率照明改 修施設	累計101施設	144施設	178施設
街路灯LED化	7,082灯	18,432灯	25,350灯

注:実施設計時の予測値。

4 今後のスケジュール(予定)

- 令和3年 11月 区民ワークショップ
- 令和4年 2月 区民生活常任委員会(計画骨子案の報告)
- 9月 区民生活常任委員会(計画素案の報告)
- 区民説明会・区民意見募集等
- 令和5年 2月 区民生活常任委員会(計画案の報告)
- 3月 新計画決定